

平成23年度 第3回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成23年12月16日(木) 午後2時00分～午後4時00分

場所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数 23名

欠席委員数 4名

事務局 10名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議題 (1) 花見川区地域福祉計画の推進状況の調査結果について
 - ・実施事例(事業名称、取組内容)・・・資料1
 - ・取組項目地区別一覧表・・・資料2
 - ・地域支え合い体制づくり補助金他・・・資料3、4、5(2) 「地域支え合い体制づくり事業」事例報告について
 - 1) 独居高齢者・障害者の見守り安否確認事業
 - 2) シニアライフトータルサポート事業(3) その他
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数27名のうち、23名出席、3名欠席を確認し開会した。
配布資料の確認、社協各区担当者の事例発表見学の了承を得た。

議題(1) 花見川区地域福祉計画の推進状況の調査結果について

事務局より地域福祉計画の推進状況について、資料をもとに寄せられた実施事例等の調査結果及び各種補助金の申請・決定状況が報告された。

<質疑応答・意見>

(実施事例、取組項目地区別一覧表)

吉松委員：地区部会未設置地区は情報がぬけてしまう。ずっと作って欲しいと言っているのだが。

事務局(社協)：207、208地区は地区部会未設置である。設置には地域の福祉団体の協力が不可欠。畑地区部会設立の際も民生委員会長にお骨折りいただいた。今後も未設置地区に対し働きかけを続けていきたい。

原田委員長：この場限りでなく、横に広げて参考にして活動して欲しい。

(地域支え合い体制づくり補助金他)

鈴木委員：地域支え合い体制づくり事業について、自治会への説明はするのか。

事務局：説明している。市政日より7月に掲載している。

山田委員：(市補助事業 地域見守り活動支援事業補助金について)市全体で2団体ということは、市の支出は30万円だったということか。

原田委員長：満額とは限らない。鷹の台も15万円ではなかった。

事務局：来年の3月まで募集している。初度調弁ということでお出ししている。

- 蔵屋委員 : 資料4で5の史跡マップ散策ガイドとあるが、ガイドブックを作っているのであれば見たいと思うが、どこで手に入るか。団体が作るのか。
- 事務局 : 団体が作る予算までは出していないため、行政で作成している。作成終われば区民のみなさんに配れるようにしたい。
- 町田委員 : 資料3の3は備品購入だけである。その後続けていく労力の方が大変で、費用もかかってくる。その方向に目を向けて欲しい。市に提案する機会あればお願いしたい。
- 事務局 : 市の補助金自体の考え方が、次年度以降は地域の方々の財源で続けてもらうことを前提としている。ご要望は所管（高齢福祉課）に伝える。

議題（2）「地域支え合い体制づくり事業」事例報告について

原田委員長より「独居高齢者・障害者の見守り安否確認事業」について、鈴木委員より「シニアライフトータルサポート事業」について、それぞれ内容の説明があった。

<質疑応答>

- 蔵屋委員 : 安否確認事業は実際にどういうことを、どういう人がやるのか。
- 原田委員長 : 一週間に一回、見守りをする。見守る側は民生委員や推進員で構成することになるだろう。現在、配食サービスをやっているグループや民生委員である。最初は民生委員と一緒に2人一組でまわり、徐々に福祉活動推進員2人にして、一ヶ月に一回担当民生委員に報告するという体制にする。
- 蔵屋委員 : 無償か。
- 原田委員長 : 無償で始めて、負担が増えてくるようであれば地区部会から費用を出そうかと考えている。
- 吉松委員 : ハンドハンド（花見川団地のたすけあい活動）を利用させていただいているが、見守りが一番大変だと感じる。ケアマネが会議等に出席させてもらえるのか。介護保険ではカバーできない部分なので、ちょっとお願いしたい時に連携がとれるのか。
- 原田委員長 : そういう希望があれば考えたい。
- 鶴岡委員 : 施設に入っている人数は除外しているのか。
- 原田委員長 : 最初から外している。自治会非会員については除外するわけにはいかない。たまたま99%以上の加入率だったが、団地などはそういう問題が出よう。
- 高橋委員 : 個人情報についてはどう保護しているか。権利を主張されて問題となるようなケースは。
- 原田委員長 : 今はまだ問題は生じていない。災害時の支え合いは同意書をとっている。これは押しかけて行っている状況。注意はしなければいけないと思っている。
- 吉松委員 : （両方への質問）有料と無料の部分のどのように住み分けしているのか。
- 原田委員長 : この助成はネットワークの立ち上げまでであるため、次年度以降は花見川地区部会で負担しようと思っている。
- 鈴木委員 : 今回は立ち上げ支援であるので、準備期間の補助と考えている。次年度以降は自前でやることになるので会員制としてオープンセミナーの際は無料で会員の研修会という形で行いたい。個別の相談業務については有償としたい。

議題（3）その他

事務局からの議題はなし。委員長より各委員に質問や感想等について発言を促し、それぞれ近況報告と感想等を述べる。

<質疑・意見等>

- 安澤委員：地域支え合い体制づくり事業について、さつきが丘宮野木台の畑はどのへんにあるのか。指導する方はいるのか。
- 中垣委員：もともとさつきが丘西小学校が借りていたもので、手が回らなくなり、地区部会と地元の施設で活用して欲しい、ということになった。
- 細野委員：資料2の1-1幕張・武石地区部会エリアの「幕張地区子ども夏まつり」について、青少年育成委員会は207地区と両方にまたがっているので、そのように表記して欲しい。

<その他発言概要>

- 中垣委員：さつきが丘・宮野木台地区部会ではのふれあい農園や社協まつりなど、大きな事業に取り掛かっている。たすけあい事業もこてはし台地区部会さんの取り組みを参考に真似させてもらい、うまくスタートした。社協まつりの資金を今後どうするか検討中である。これからもいろいろな活動を行っていく。
- 友利委員：天戸中学校区では地域に地区部会活動が浸透していないので活動に苦慮しているが、先進事例に学びながら負けないように頑張っていきたい。
- 鶴岡委員：犢橋地区は歴史のある地域であるが、新しい地区部会活動に関心が薄い地域といえる。現在、地域支え合い体制づくり事業を活用し拠点整備をして地元の活動を活性化しようとしているところである。
- 多田委員：幕張本郷中学校区地区部会は現在4年目で歴史が浅い。役員は民生委員、町内自治会、福祉活動推進員など約50名で構成される。7,400世帯、中学校1つ、小学校2つの大所帯のエリアである。4つの町内自治会でやっていた活動を組織化するとともに合同でやるものもあり、特に敬老会は軌道に乗りつつある。青少年育成委員会のメンバーが兼務していてかなりの機動力になっている。
- 清水委員：畑地区部会は歴史が浅いどころかまっさらの状態。事務局の力を借りながら、これから頑張っていきたい。
- 鈴木委員：幕張・武石地区部会は幕張駅の線路から山側のエリアである。各地区の活動を参考に、新しい事業にも取り組んで行きたい。
- 東野委員：206地区は白紙部分が多いが今のところ町内自治会や老人クラブなどでやっていることが数えきれないくらいあるので、記載していないということでご了解いただきたい。

事務局より次回推進協は2月もしくは3月に予定している旨と事務連絡があり、最後に原田委員長から閉会挨拶をし、午後4時00分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。